

環境目的	担当部署	2021年度目標	結果
有機溶剤・PRTR物質削減	技術部	1) 防水系土木用環境対応塗料のユーザー採用と拡販	1) 防水用は水系1液トップがユーザー採用。引き続き1液、2液を他ユーザー展開して拡販目指す。又層間プライマーも上市直前までは至れた。トップコートと併せてPRを継続していく。防水用の後追い展開で壁用もユーザーと共同評価へ展開。次年度は営業と連携し採用に向け展開する。土木用はユーザーとの共同評価進めるも大きな進展に至れなかった。PR強化する。
有機溶剤・PRTR物質削減		2) 道路用遮熱環境対応塗料のユーザー採用と拡販	2) 道路用無溶剤は製品化し実施工で作業性・経過状況が高評価もPR不足か拡販に至れず。次年度は販売展開に注力。水系は特性のPR不足で展開遅れ。次年度巻き返しを図る。
有機溶剤・PRTR物質削減		3) 建材用環境対応塗料の開発	3) 屋根用水系塗料は5月上市しその後拡販展開に至れた。次年度は更なるデータ蓄積での拡販を目指すと共に、+断熱機能を持たせて差別化を図った水系/無溶剤系塗料開発を注力する。
有機溶剤・PRTR物質削減		4) 特殊機能性環境対応塗料の開発	4) ユーザーでの施工評価良好も正式上市と拡販まで進まず。今年の結果を引き継ぎ、次年度に進展を図る。
有機溶剤・PRTR物質削減	営業部	水系塗料の販売400t/年	224.3トン(2020年度目標に対して達成率70.09%) 目標未達成 拡販予定の防水ユーザーへのテーマの進捗が遅れた事とオパロンはアプローチ不足や乾燥性の問題で伸びなかった
産業廃棄物の削減	製造部	廃塗料、廃原料の削減 2020年度は、特別廃棄指示により達成できなかったことから、2022年度までの達成目標は2019年度での目標1266kg/年以下を継続して取り組むこととします。	廃塗料、廃原料の削減 2022年度までの達成目標は2019年度での目標1266kg/年以下を継続して取り組むこととし、今期発生は「0」で目標達成中です。
	製造部	洗浄溶剤削減2017～2019年度平均16.39kg/tの6%減15.4kg/tを目標に取り組む	洗浄溶剤削減2017～2019年度平均16.39kg/tの6%減15.4kg/tを目標に取り組むに対し12.5kg/tで目標達成
	製造部	漏れが無く、段積み可能な破損の引取50%	破損9件受取1件：11% (目標の22%) 未達成
一般廃棄物の削減	製造部	リユース転用2014～2016年通期平均実績2456kg以上を維持する。	リユース転用2014～2016年通期平均実績2456kg以上を維持する。結果3540kgで目標達成
	総務部	一般ゴミ廃棄量350Kg以下	347Kg(2021年度目標の99%) 目標達成
省エネルギーの実施「消費電力の削減」	営業部	ガソリンの節約 平均15KM/L	16.24km/L (2021年目標の108.2%)目標達成
	本社	8849KWH(2016年度を維持)	10177KWH (15%オーバー 未達成)
	製造部	最大電力量を280kW/h以下を継続維持する	最大電力量を280kW/h以下を継続維持するを目標とし、280kW/hを超えることはなく達成
省資源活動	技術部	OA用紙2,800枚(2022年目標の2年連続達成を)	2000枚 (2021年目標の81.6%) 目標達成
	品質管理課		
	営業部	OA用紙使用年1200枚へ	1905枚(目標の158%)前半で既に目標オーバーも後半はメール活用で使用を抑えた
	営業部	1. ITの推進(EDI25件)	24(目標の96%) 目標未達
	営業部	2. 請求書のメール化 235件	236(目標の100.4%) 目標達成
	営業部	3. 納品書のメール化 242件	233(目標の96.28%) 目標未達
	営業部	4. 受注請書のメール化 269件	200(目標の74.34%) 目標未達
	総務部	発注のメール化80%	75.95%(目標の95% 未達成)
総務部	仕入請求書データ化80%	72%(平均59.4件中42.7件 2021年目標の90% 未達成)	